

教材教具の工夫

小学部6年 保健指導「よいうんちを出して元気な体をつくろう」

児童が健康な排便習慣を身に付けることができるように、触る教材や実験を通じて、よい便の状態を考えさせた、養護教諭による指導。現在の自分の状態を知り、望ましい状態と比較することで、自分の健康課題に気づき、課題解決に向けた行動が見られた。

1 事前のチェック

「うんちチェックシート（NPO法人日本トイレ研究所）」で自分の便の状態を確認したところ、コロコロうんちであったことから、「健康的なうんち（バナナうんち）」がなぜ良いかについて、必要なことを学び、冬休みの生活で実践することへとつなげることにした。

2 便の形状の観察

小麦粉粘土で作った、「バナナうんち」と「コロコロうんち」とその「中間のうんち」を触って確認した。

それぞれ硬さや形状を変えて作ったため、違いに気付くことができた。



3 排便の実験

腸に見立てた袋から便を押し出してみる実験を行った。

「バナナうんち」はするっと出るが、「コロコロうんち」は硬くて出口に引っかかるため、なかなか出てこないことが実感できた。

